

開発プログラムに対する参加者からの意見まとめ

|                       |  |
|-----------------------|--|
| <p>土の絵の具をつくる</p>      | <p><b>貸出標本セット(土の色)に今後追加したい補助教材について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○土の手触りが体験できる触れる土のサンプル(10から15種類ぐらいあると良い)</li><li>○実際に紙に塗った時の色見本(土を水で溶いて紙に塗ったときに色が変わるので)</li><li>○土サンプルの採集地の写真(粉にする前の土がどのような状態で、それがどのような場所にあったのか、土がより身近に感じられ、また6年理科とリンクできる)</li><li>○ふるいにかけている映像や採集の様子をうつした写真など(サンプルがきれい過ぎて土のイメージとつながらないので)</li><li>○小学校とは縁がないように考えていたが、土の色に着目して絵の具として活用するという事は生活化だけでなく、図画工作、総合【社会化の発展一修学旅行などからめ)日本古代の絵の具を考えさせることもできるのではないかと(赤・青・緑など原色に近いものの土壌サンプルが多くあると面白い)。</li><li>○製作キット(実際に絵の具を作る時に使う道具のセット)</li><li>○珍しい土のサンプル(都会で見かけないもの)</li><li>○母岩などのデータ(中学校教員からの要望)</li><li>○絵の具にすぐできるキット(コンパクトなケースにまとまっていて開けたらすぐ使える)</li><li>○身近な土から作ってみたい。自分で作った土のサンプルと似たものを標本の中から探すなどすると面白そうだ。</li><li>○河原にあるような石を削って粉を作り、土の色と比べてみる実験に使えそうだ(絵の具の発達の歴史をたどる発展プログラムとして)</li></ul>  |
| <p>土の中の生きものウォッチング</p> | <p><b>博物館職員なしでもプログラムが実施できるような教員のための補助資料について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○単純な道具の取扱説明書(実際吸虫管を扱ったことのある先生は半分不足で、吸うときもピュッと勢い良く吸う要領がわからず、ゆっくり吸ってうまく虫が吸えなかつたりする)。</li><li>○小学校では、道具をあまり使わない観察が望ましい。</li><li>○吸虫管やルーペなどは、大人の使う道具。ガラス製の吸虫管は、子どもが壊してけがをすることも考えられるので、野外で使うには心配。プラスチック製の物の方が安全である。また、ルーペよりも虫眼鏡の方が、子どもたちは使いやすい。学年によって、道具も使い分けた方がよい。</li><li>○小さいバットは、複数で観察するときには狭すぎ、落ち葉がはみだしてしまいとても使いづらい。白くて大きなビニールシートを用意し、それを広げて落ち葉を調べると、大人数で一斉に調べることができるのではないかと。</li><li>○採集した生き物を拡大して観察するツール</li><li>○採集した動く生き物を(視野から逃さずに)観察するツール<br/>※補)中学校では、双眼実体顕微鏡、アルコール、パラフィンを使用。</li><li>○吸虫管はメンテナンスが大変。フィルムケースで手作りする手もある。また吸いこむと口の中が砂っぽくなるので、改良が必要。</li><li>○写真を見ても大きさがわからない。</li><li>○映像の方がイメージがわく。</li><li>○落ち葉を食べる生物、動物の死骸を食べる生物など、役割からも検索できるようなものがあるといい。</li><li>○食べる食べられるという循環性をチャートで示したものが欲しい。</li><li>○土の採取からプログラムに取り入れ、土のどんな場所にどんな生物がいるかを生徒に認識させることができるといい。</li></ul> |

2008年7月25日(金)

第3回「授業に役立つ博物館」を語る会「土壌」

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>○吸虫管を吸うことはカビ等を吸入することにつながるため安全性心配。ピペッターなどを使用すると良いのではないか。</p> <p>○学校が臨海部の埋立地のため多様性が乏しい。土そのものを他から持ってくる必要がある。</p>   |
| 季節の野草でビンゴ！ | <p><b>教員のための補助資料について</b></p> <p>○「動機づけ」としてはいい教材ではあるが、その後の学習をどう発展させるかが課題。</p> <p>○花の部分だけを切り取ってその他の部分を描きこませて完成させるなどするといいのではないか。</p> <p>○植物の名前の由来や、匂い、生活との関連などの情報をまとめた補助資料があるといい。</p> <p>○植物の原色標本を今回のようなサイズで短時間で作る方法はないだろうか。市販のもので電子レンジを使って作るものがあるが、植物全体を標本にすることは難しい(レンジの大きさのため)。</p> <p>○植物の観察は中学校の導入部なので、今日のビンゴのような形で興味をひきつけたいと思った。</p> |